

たわわ



地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2009年4月30日

97号

NPO 法人

「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

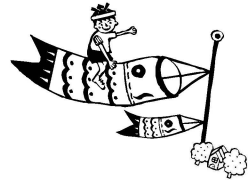
活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

∞制度の間を埋めながら∞

しなやかに頑張ろう！



新緑に映える朱色の美しい平安神宮、白砂の前庭を、外国人の観光客の一団が、声高に説明するガイドの後について横切っていきます。見ると一行から遠く離れた入り口で、車椅子に乗った外国人が独り、別のガイドから静かに説明をうけていました。

今、街中はバリアフリーが進んでいますが、まだまだこうした美しい庭や寺院を訪ねて歴史遺産を歩くとき、折り合いが難しいのだなーと感じました。

* * *

昨年まで、東横線沿線の大倉山記念館で、障害者団体が集い「くれよんの夢展」を開いていました。何度と無く意見が出され、建物の階段などのバリアフリー化を呼びかけた事もありましたが、公の建物ながら歴史的な西洋建築物に手を触れる事はできませんでした。その不自由さは、ボランティアや当事者たちの努力でおぎなって20数年が過ぎました。

今思うと、バリアフリー化も、ハード面での常識的な設備から、より細かい心の配慮の時代に入ってきていると思われます。その中で、市民一人ひとりの心の中に、芽生え育つものがあって欲しいと思います。制度をつくり、活かしていく運動は大切ですが、制度だけでは支えきれないところを、おたがいに助け合って埋めていけないと、本当に暮らしよい社会は実現しないのではないのでしょうか。

* * *

さて、デイサービスの場合「活動ホームしもだ」での大きなイベント『第21回しもだ地域交流バザー』が、間もなくせまっています。これからの半月は、関わる私たちにとって準備に大忙しとなります。

開設当初、光熱水費にも満たない補助金の中で、地域あげての応援を受け、築いてきた活動ホームしもだも、横浜市独自の制度ながら、何度かの制度の変革を経て国の経費も入り、デイサービスの場合、障害者の地域生活を支える場として、定着しました。

しかし、ここを支えてきた多くの方たちの心は変わることなく継続されています。また、それなくして「しもだ」は、「しもだ」であり続ける事はできません。開設の頃の理念がきちんと受け継がれ、かつ時代にも、支える方たちの状況にも合わせながら、しなやかに、頑張っ

——グループホーム

よつばホーム・第2よつばホーム——

新吉田町地域交流バザー終わる

4月4日穏やかな日差しの中、グループホームのイベントが行なわれました。よつばホームの庭先とはいえ、雑貨や衣料品がたくさん積み上げられ、空けてくださった下の駐車場では手作り食品などが販売されました。

いつものように、名物の焼きそばやフランクフルトに加え、今年はおでんも販売されイベントらしい雰囲気をもりあげていました。また、コーヒーや飲み

物は友情と感謝をこめて無料。ボランティアさんが大奮闘でした。

多くの皆様に品物

のご提供をいただいたほか、新吉田地区社会福祉協議会から新たに4名の皆さんにボランティアとして応援していただき、テントの設営や運搬などでは地元西部町会の皆さんにお世話になりました。また、お忙しい中、たくさんのお赤飯を作ってお持ちくださるなどたくさんのかたがたの温かいご協力に感謝いたします。



ご入会 ご継続 ありがとうございます

[敬称略]

《顧問会員》 薄井 芳夫

下嶋 悦子

井上 禮子

若木 信子

門脇トモ子

濱 あい子

森 芳春

日浦美智江

《会 員》 石黒勢津子

大原 日恵

大原 友子

鈴江 美博

高畠 慶子

竹生眞喜子

丸井 直美

藤田 寿子

《賛助会員》 山本 邦子

福石 千里

山本 暁子

白川田倫代

佐々木幸子

高畠 誠

新田新之介

新田 恵子

川尻 浩介

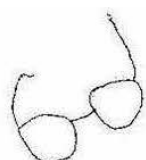
川尻 章子

《団体賛助会員》 大原マネジメント研究所 フォーラム港北 (21年4月28日現在)

ご寄付

よつばホームバザーに ご寄付いただきました。厚くお礼申し上げます。

中山 欽一様 富岡元道様 新吉田町西部町会様 山本 直様 高安アヤ子様



めがねの声

■時には 親たちも一緒に...

今年は、さくらがとてもきれいだった。咲いている間 雨が降らなかったり、強い風もなかったし 寒い日が続いたので 長く楽しめたと皆と話していました。

この前、港北区の肢体不自由児者父母の会の旅行で那須の那珂川苑に行きました。

久しぶりの強い雨だと予報されていましたが、恵まれて お天気もよかったです。あたらしい設備のある水族館にいきました。大きな魚やいろいろな魚を「おいしそうね！」などと言いながら見ました。小さな魚にさわれるコーナーもありました。庭にはびっくりするほど、たくさんの花が咲いていました。

いわむらかずお 絵本の美術館にも行きました。私は絵を見るのが好きなので、とてもよかったです。

* * *

この会は、障害者の親たちの会ですが、1年に1回は旅行に行きます。私は、この時期は母はとても忙しいので、いつもボランティアさんと一緒に参加します。いつものメンバーとはまた違った人たちと一緒に旅行をするので楽しみにしています。皆さんに1年ぶりにあって、いろいろな話をしますが、行く前にも「元気にしているかな...」と 楽しみです。

前に年に一回のふれあい運動会があった頃、ボランティアをしている古い友達と「七夕様のようだね...」といって いつも大笑いしていましたが、この旅行もそうです。

お母さんたちが ゆっくり歩く後姿を見ていると、1年に一回親子で行くのも楽しみなのだなと思います。

前は元気だったお母さんたちが、杖をついていたり 車椅子に乗って移動したりしていて私は驚きました。障害者を育ててきたお母さんたちが、大変になってきています。

* * *

障害者は活動ホームや地域作業所などで、時々外に出掛けますが、親子一緒に出かける事も大切だなと思います。親のためにもボランティアをたのんで、旅行するのもいいですね。

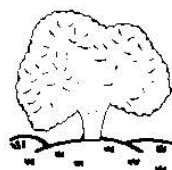
大原友子

俳句

公園に みごとに咲きし 山桜

空青く 色とりどりの 桜花

山あいひっそり咲きし 山桜 (せつこ)



作者の紹介

高島勢津子さんは、よつばホームの入居者の中で一番のお姉さんです。スキルビーズの手芸や、テレビでスポーツを観戦するのが好きですが、草花なども好きで、ホームでも手伝ってもらいながら鉢植えを育てたりしています。また、余暇には百人一首のなぞり書きなどで、手習いにも余念がありません。(会員の皆様もどうぞ作品をお寄せください)

今月のよつばホーム

よつばホーム

風薫るよい季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

4月4日に毎年恒例となりました『地域交流バザー』がありました。

さて、バザー前日はみんな大忙しです。そして入居者のみんなも準備に大忙しです^^

勢津子さんは当日の天候や花粉情報をチェックし、花岡さんは「いらっしゃいませ〜！」とフランクフルト売りの練習をしています。次郎さんはいつも通りのマイペース♪

そして、バザー当日は天気にも恵まれました。バザーの後片付け中に「ポツリポツリ」雨が降り出してくる……。ギリギリでした。(;^_^A

天候に恵まれた、それだけでバザーはほぼ成功したと言っていいでしょう。

お手伝いくださったボランティアさん、テント設置していただいた地域の方々、ありがとうございました。

:*:.'☆*:~また来年もよろしくおねがいします~*:.'☆*:~

* * *

4月7日は次郎さんの誕生日でした。＼(^▽^)/

帰宅後すぐに、職員に頼んでいたケーキを嬉しそうにチェックします♪

(ちゃんと頼まれたチョコレートケーキです！ ^o^;)

そして夕食の時間となり、いよいよケーキの登場です♪勢津子さん、花岡さん、この日のスタッフみんなにお祝いしてもらって照れくさそうです。

「Happy birthday dear 次郎さん〜♪」歌が終わっても、照れくさくてなかなかロウソクの火を吹き消してくれない次郎さんでした。o(^▽^)^o



第2よつばホーム

3月31日は活動ホームが休みのため、昼食(びっくり寿司)と散歩にみんなで出かけました。

びっくり寿司では、あれこれ迷いながら注文する人、ざわざわした店内に少々コーフンする人、満腹になるとスタッフの手元にあったペンとメモ用紙にすすーっと手を伸ばし、いつも通り『勉強』(書きもの)をする人……。人それぞれの食事風景でした。

近隣にあってフレンドリーな対応の貴重なお店でした。『ぜひ馴染みの寿司屋と呼んでくださいナ!』という寿司店スタッフの何気ない一言があたたく感じられました。食後は仲町台駅近く『せせらぎ公園』を散歩しました。

『暑からず寒からず』絶好の散歩日和に、平日にもかかわらず気の早い花見客でけっこうにぎわっていました。(花は2〜3分咲き位)古民家みたり、鴨みたり、のんびり歩いてみたり……。春を感じられた一日が過ごせました。